

平成26年度文部科学省指定 スーパーグローバルハイスクール（5年間指定）

## 2015 SGH通信

【1年生配布用】

No20 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

## 大学の先生方をお迎えし、5領域入門講座を開催します！

1 目的 I期（4～6月）のスキル習得期、II期（7～9月）のグローバル課題発見期を経て、皆さんが興味を持ったグローバル課題が、学問分野ではどのように研究対象として扱われ、どのような形で国際貢献に繋がっているのかを学び、考える機会として、本講座を位置づけています。2日間にわたる「5領域」に関わる研究者による本講座を通して、後期の研究テーマを考え、設定していくことを目的とします。

2 日時 平成27年10月23日（金）5・6時限（本日は短縮日課です）

■「思索の時間」開始（12時45分）前に移動を開始し、各講義室で「思索」を！

3 時間配分 講義（80分間）13時00分～14時20分（学習シートへのメモ）

質疑応答（10分間）14時20分～14時30分

記録作成（10分間）14時30分～14時40分（学習シートのまとめ・感想）

4 講師・講演内容・参加人数・講演場所

【10月23日（金）】

| 領域名                   | 大学名等            | 職名・氏名                      | 内容                                   | 参加人数 | 講演場所      |
|-----------------------|-----------------|----------------------------|--------------------------------------|------|-----------|
| 国際開発                  | 名古屋大学・国際開発研究科   | 特任助教・島津侑希                  | 日本の国際協力：政府と民間のアプローチ                  | 41   | PC1       |
| 比較教育                  | 名古屋大学・国際開発研究科   | 特任助教・荻巣崇世                  | 「国際開発」のために教育が果たすべき役割について             | 67   | ゼミ南       |
| 国際ビジネス                | 名古屋外国語大学        | 国際ビジネス学科長<br>教授・塩見治人       | ビジネスから見たグローバリゼーション                   | 61   | ゼミ北       |
| 環境・エネルギー<br>再生可能エネルギー | 名古屋工業大学・電気電子工学  | 教授・市村正也                    | 太陽光、風力、バイオマス発電：長所、短所を考える             | 54   | 地歴        |
| 環境・エネルギー<br>都市環境      | 名古屋工業大学・社会工学    | 准教授・増田理子                   | 持続可能な街づくり                            | 9    | 生物<br>講義室 |
| 環境・エネルギー<br>農学        | 岐阜大学<br>応用生物科学部 | 教授・小見山章                    | マングローブ林生態系の生物と人間                     | 36   | PC2       |
| 国際医療                  | 名古屋医療センター       | 教授・横幕能行(臨床)<br>教授・岩谷靖雅(研究) | エイズ等の感染症研究や日本の医療対策が、東南アジアの発展に如何に役立つか | 52   | 理科<br>総合  |

5 持ち物 課題研究ファイル（ポートフォリオ）、配付された「学習シート」、筆記用具

## 5領域入門講座の聴き方ポイント ～自分を高めるために～

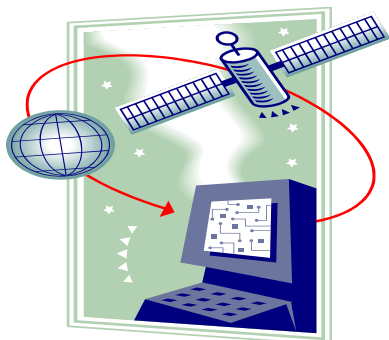


### 【学習シートの活用方法】

- 話しの主旨を振り返ることができるメモづくり
- 講師の先生が大切にしているポイントを記録
- 自分の意見・考え方を赤ペン等で書き込んでおく
- 今後の研究の視点として有用なものはメモしておく
- 疑問点は、即座に「質問してみたい事項」に記入

### 【キャリア形成の発想を持って聞こう】

- 講師の先生は、どのように現在の研究分野にたどり着いたか？
- どのような高校生活を送ればよいのか？
- 自分の興味・関心、潜在的な能力はどの分野で発揮すべきか？
- どんな学部・学科にいけば、自分が輝けるのか？
- 大学での研究を、職業とどのように結びつけていくのか？



### 【講師の先生の研究は、社会にどう役立つのか？】

- 講師の先生の研究動機はどこにあるのか？
- 先生の研究の特徴は何か？
- なぜ先生の研究が社会に役立つのか？
- グローバル社会において、その研究はアジアの人々にどのような恩恵をもたらすのか？

## 「SGH課題研究1」の今後の予定と見通し

10月30日（金） 5領域入門講座②を実施します。

11月 2日（月） 5領域から自分の研究領域を一つ選択します。

11月13日（金） クラス内で、研究グループを組織し、研究テーマを決定します。

いよいよ11月からは、グループ単位での探究活動がはじまります。本校のSGH研究テーマは、「アジアを学び世界をつなぐ1600人のリーダー育成」です。

アジアの一員としての自覚を持って、自分たちが探究活動を行うことで、アジアの人々と我々日本人が共生することに繋がるのか、深く考えてテーマ設定することを願っています。

“夢”のような研究テーマで良いのです。今回の80分間の講義を、自分が本当に知りたいことは何なのか、考えていきたいことは何なのか、深く考える機会にしてください。

